

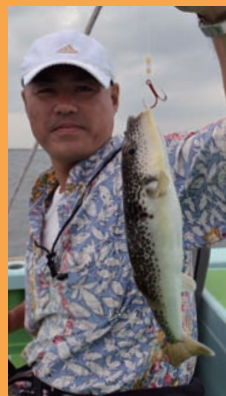


▲せっかく釣れたと思ったら……ヒトデでした
▶船長の教えたとおりに釣ればなんとかなります

初めのうちは
〇×△□※
……でした



▲たっぷり引きを味わえます



▲掛かってくるのはほとんど30センチ前後



▲トップの女性はなんと健太郎船長の妹さん。さすが黒川家のDNAを受け継いでいるだけある
▶神奈川県ふぐ包丁士の免許取得済みの船長がきれいにさばってくれます

impression



綾子の感想
♥下関出身なので、フグには縁があるようです。1尾釣れてとても感動しました。タックルの使い方も分からない私に親切に教えてくれて、本当に感謝しています。この経験を今後の釣りライフにいかしていくつもりです。



♡いつの間にか釣れてしまったフグ？



下関出身です
トラフグかと思いましたが

女性読者モデルオーディション
DOKUMO ドクモスポーツ 2012
参加者 大募集



9th チャレンジャー
● **児嶋 綾子** (こじまあやこ)
● 1982年生まれ30歳
● 職業 会社員
● 趣味 旅行、野菜作り
第1次審査 vol.9
東京湾 大貫沖の ショウサイフグ
東京湾奥金沢八景 野毛屋
写真/文◎本誌編集部

ドクモスカウト事務局代表 徳永 隆也 17点
(A~Fの項目 30点満点で採点)
評価 釣り好き家族の応援もあり、関東の沖釣りを覚えたいと応募した彼女。下関出身で地元で慣れ親しんだフグが相手だったが、いかに経験不足を露呈してしまった。怒りずに沖釣りに挑戦していただきたいものです。

つり情報代表 本誌発行人 根岸 伸之 21点
(A~Fの項目 30点満点で採点)
評価 何もかもが初めてというわりにはタックルの扱いにすぐ慣れたし、釣りにも真剣さがうかがえた。途中で船酔いさえしなければあと1~2尾は釣れたはず。次は体調を整えてから船に乗りましょう。

カメラ担当 T 16点
(ビジュアル中心に 20点満点で採点)
評価 カッパを脱いだら一瞬ドキッとしました。こういうスタイルは夏らしくてグッド。

野毛屋船長の目 Captain 黒川健太郎船長 8点
(テクニク中心に20点満点で採点)と奥様の聡美さん、長男の勇太君
初めてなら修行一筋。通えばもっと釣らせてあげますよ。

Score 総合得点 62点
※この点が一次審査の持ち点になります
100点満点

ドクモスカウト2012 募集要項
● **内容**: 2012年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラー育成のお手伝いをさせていただきます。
● **応募条件**: 自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限りです。
● **選考方法**: 毎月1名、書類審査通過者に選ばれる予定です。
さらに詳しく…

今回のチャレンジャー児嶋綾子さんは船釣りはまったくの未経験、それゆえフグ釣りはその存在すら知らなかったという超初心者。いきなり難易度Aランクとも言えるターゲットは無謀とも思えたが、見ているほうは興味をそそる部分もあるからおもしろい。
8月14日、乗船したのはフグ釣りファンにはおなじみの宿、金沢八景の野毛屋。黒川健太郎船長は初心者にも親切に教えてくれると定評がある。今回の釣り物選択にはそんな事情もあったのだ。
総勢8名で7時15分に出船し、30分ほど走って大貫沖9メートルダチに到着。船長は投入合図を出してから彼女へのレクチャー開始。
ひととおりの釣り方を教えたところ、右舷に座るベテラン女性が船中第一号となる30センチ級のフグを釣り上げる。
今日のフグは機嫌がい

ところが、この先彼女はアタリさえ取れずに納竿を迎えた。船中では釣り始めの予感どおりで、途切れなくアタリは続き、トップは18尾の大釣り。それもほとんどが30センチ級という型ぞろいだった。
「ありがとうございました」と深ぶかど礼をして下船する彼女。わずか1尾の釣果ではあったが、初めての船釣り、初めてのフグ、すべてが初めてづくしの彼女が得たものは1尾のフグ以上に大きかったようだ。



9th challenger Mineko Suzuki
釣り好きの家族に囲まれて育ちましたが、私は食べるほうが専門。大人になっていつか釣りをしたいという思いが芽生え、機会をうかがっていたところ、ドクモの応募を知りました。家族で釣りを楽しむのが夢です。

乗船メモ ☎045・781・5964 (詳細は巻末の情報欄参照)
東京湾奥 野毛屋 ▶料金=フグ乗合1人9000円(アマエビエサ40匹付き)、追加20匹300円。氷200円。▶備考=他にエビエサのマダイ、イナダ・ワラサ乗合へも